

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 上三川町こども発達支援センターおひさまの家
児童発達支援みつばち

公表日 令和7年 3月 31日

利用児童数 24名

回収数 16名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1	0	0	入り口の段差は高いなあと思っていました。車イスの人がいないから問題ないの だろうと思いますが…	入口の段差については職員一同おひさま の安全に気を付けていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	0	0	・換気の為、窓が開いていると思うので すが、真冬はとても寒いと感じることが 多いです。 ・夕方、掃除している様子が見られる。	感染対策で換気をすることがあります。 空調の温度、風量調整などをこまめに確 認し、適温を保てるようにしてまいりま す。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	1	・モニタリングなどで、細かく話を聞いて くださっている。 ・STの方がいらっしゃるので、個別で STを受けられたらなと思ってます。	今後も職員研修を強化しながら、より専 門性のある支援を提供できるよう務めて まいります。また、専門的支援につい ては、専門職の細かなアセスメントを行い 適切に実施していきたいと思います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	0	3	5		幼稚園等との交流はできていませんが、近 所の公園へお出かけにいくなど、地域の公共 施設の場での活動も増やしていきたいと思っ ております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	0	0	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	2		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	1	1	4	イベントは兄弟も参加させて頂き、2人 ともとても楽しく活動できました。	保護者研修会や、親子療育でのイベント で、保護者、きょうだい同士の交流の 場面を持てるようにしていきたいと思 います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1	0	1	他の療育では、LINEを活用しており、とても便利なので、こちらでも導入を検討して頂けると嬉しいです。	法人と検討していきたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	0	3	未記入 1 防犯については、よくわからない部分がある。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	1	定期的な防災訓練のおかげで、身につけている（理解がある）と感じています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		上三川町こども発達支援センター おひさまの家 児童発達支援 みつばち		公表日	令和7年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動内容に合わせて、施設内の他の部屋も活用した。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・玄関にスロープはなく段差がある。 ・各部屋の入り口に用途に合わせたイラストをはる。 ・ガラスに保護シートを貼り、飛び散りを防いだ。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		用具の消毒を毎回行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		クールダウンの時などは事業所内の他の部屋を使用している。	
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		支援会議でプログラムの検討を行っている。 動後終了後には、振り返りを行い改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		外部からの評価を受けていない。可能な方法を法人と検討し、サービスの質の向上に努めてまいりたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人研修、OJT、外部研修をすべての職員が受けることができた。	今後も、職員の支援スキルを高めていけるよう研修の機会を設けてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		KIDS乳幼児発達スケール S-M社会生活能力検査を用いている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎週の支援会議で検討している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		楽しみながら、集中して行えるように意識し、立案している。	行事などで、同じ催し物をするところもあるが、ルールを設定を変えたりなど工夫している。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		集団活動において見えた課題を、個別療育時に丁寧に支援し、集団活動へつなげている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		打合せは必ずできるようにしている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・入園予定の幼稚園や就学予定の小学校と関係機関連携会議を開き情報共有を行う。保護者が希望された際は、移行支援シートを作成。		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		研修を受けることはできたが、直接スーパーバイズを受ける機会はなかった。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			療育後、迎えに来た保護者にその日の療育での様子をお伝えしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			契約更新時に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	保護者研修や、親子療育の場での交流の場面を持てるようにしている。	保護者だけではなく、きょうだいと一緒に参加できる行事なども検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		月1回「おひさま通信」を発行し、活動の様子を写真を使用したりしてわかり易く伝えている。	ホームページの更新ができなかった。今後は発信を定期的に行っていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		事業所の紹介を、上三川町福祉まつりでパネル紹介等はできたが、事業所主催の行事は開催できなかった。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			保護者に確認後、必要な場合は留意して対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年3回の研修をしている。入職時にも必ず行っている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	上三川町子ども発達支援センターおひさまの家 児童発達支援みつばち			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		～	2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 21日		～	2025年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して活動に取り組めるような場所作りをし、小集団療育で子どもひとりひとりの特性等を理解し活動プログラムを立案し支援しております。	毎週の支援会議で活動プログラムについて検討し、子どもの日々の様子の振り返りを毎日行っている。子どもたちが今何に困っていて、何に興味をもっているのか日常的に職員間で共有し支援方法について検討している。	子どもにとって安心できる環境づくりのために、今後も子どもの心身の発達、障害特性を理解した支援の提供ができるよう研鑽に励んでまいります。
2	多様な専門職員が在籍しており、ひとりひとりのニーズに即した専門的支援を実施しております。事業所内の他事業との合同行事やリトミック教室、SST等多様なプログラムを提供し、多角的な支援をしております。	言語聴覚士・作業療法士・理学療法士・公認心理師・保育士による個別療育の提供をしています。リトミック教室については外部から講師を招いて開催したり、SSTについては「セカンドステップ」の教材を用いております。	専門職による個別の療育と、小集団での療育を相互に高めなが支援をしていけるよう、個別・小集団での療育の様子等を適宜職員間で共有していきます。
3	保護者との日々のやり取りを大切に、子どもの発達の状況について共有しながら支援方法について考えております。	保護者にご協力いただき、説明の時間までに集まっていたり、療育終了後には必ず活動中のおさまの様子を説明しております。また就学についての研修会や心理師による発達相談を行っています。	現在テラスでの説明を行っておりますが、部屋の様子をみていただいたり、療育の様子をみていただく機会も定期的に開催できるように検討していきたいと思っております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園、幼稚園等との交流、地域の他の子どもとの交流の機会が少ない。	ほとんどの子どもが日中の活動の場として保育園や幼稚園に通い併用しているため、それ以外の場でどのような関わり方が子どもたちにとって良い経験となるのか、意見をもらいながら、考えていく必要がある。	公園あそびなどの頻度や、公共施設等の利用なども含め、地域生活を意識したプログラム等を検討していきたいと思っております。
2	父母の会、保護者会の活動ができていない。	保護者研修会の場で保護者同士が情報交換できる場面を作るなどの工夫ができたとおもう。	保護者やきょうだい同士の交流の場が持てるように、家族で参加できる行事の開催なども検討していけると良いと思っております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 上三川町子ども発達支援センターおひさまの家
放課後等デイサービス たんぼぼ

公表日 令和7年3月31日

利用児童数 26名(配布数24名)

回収数 19名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	3	0	3	活動するスペースは十分にあるような気がします。	活動の内容によって、部屋を区切ったり部屋全体を使う等の工夫をしております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	5	0	3		基準配置の職員数のほかに、専門職の職員を配置しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1	0	3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	17	0	0	2	いつも清掃している様子が見られるので、トイレや床は、とてもきれいだと思います。	療育終了後には教材等の消毒を行い職員全員で施設内の清掃を行って清潔をたもてるよう努力しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	2	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0	未記入1	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	3	0	1	活動（室内）と外出の時間があると、子供も刺激になる為、楽しめている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	8	5	4	・相手の理解が得られないと一緒に活動するのは大変だと思います。 ・地域の他の子どもと活動することがあるのかわかりません。	地域の公園等での園外活動を通して、生活の中での交流が持てるように、工夫していきたいと思います。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	2	0	0		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	1	0		今後も保護者の皆様との日々のやり取りを大切にしていきたいと思っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	3	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	8	1	2		保護者研修会の場で保護者やきょうだい同士の関わりの場を持てるようにしていきたいと思っています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	0	0	特別行事参加申し込み用紙を提出するまでに電話対応がプラスされ、申し込みしやすくなりました。また、急な事でもすぐに確認して対応して頂いてます。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	1	0		日々の療育の様子等については口頭で伝達しておりますが、その他の方法等も含めて適切な伝え方を検討してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	4	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	1	個々の情報をきちんとファイリングされていて、過去の質問にすぐに回答頂けています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	2	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	2	0	0	外出時に事業所に到着が遅くなる場合なども連携して頂けて安心しております。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	2	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	4	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		上三川町こども発達支援センターおひさまの家 放課後等デイサービス たんぼぼ		公表日 令和7年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動の内容により部屋を区切る等している。クールダウンのスペースも確保し状況に合わせて部屋の使い方を工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基準配置の職員のほかに、専門職、運転手を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		室内はこどもにわかりやすく動線を作っています。	玄関のスロープ設置はできていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		部屋の中にクールダウンのスペースを設けているほか、他の部屋を使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		活動前の打合せ、活動後の反省評価は毎日行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員会議で全員で共有し、課題についての検討を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎週の支援会議の場でそれぞれの役割分担について意見交換をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人内研修だけでなく、外部の研修を職員全員が受ける機会を設けている。	事例検討は行うことができたが、ヒヤリハット事例集等を作成して職員が常に支援について振り返りができるとよい。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		S-M社会生活能力検査を用いている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	毎週の支援会議で立案し職員で検討しているが、短時間勤務の職員については毎回の参加ができず、同じ場での検討ができていない。	短時間勤務の職員については、活動前の打合せや、反省評価の時に、意見をだし検討の場面を設けていけるようにしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			毎日定時で行っている。朝礼の時には、事業所全体で部屋割りや活動で使う用具などの確認を必ず行い確認している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			反省評価について活動プログラムの記録用紙に記入しファイリングして次の支援に生かしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		社会福法人連絡会への参加をし情報共有等を行っている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			毎日の療育の様子は必ず保護者へ直接お伝えしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			保護者研修の機会を設けている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			更新契約の際に説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	父母会の活動についてはできていない。	保護者研修会の際を活用し、保護者同士が交流できるようにしていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		施設開放など、地域住民の招待等はできておらず、今後検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	ヒヤリハット事例集は作れていないが、支援会議や職員会議の場で検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	上三川町子ども発達支援センターおひさまの家 放課後等デイサービスたんぼぼ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 21日		2025年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性等に配慮し心地よく過ごせる環境を整えて、子ども同士が関わりながら、多様な活動に取り組めるように支援しております。	様々な年齢のお友達と関わる中で、協調性や社会性を育めるように、曜日の調整をさせていただいております。	子どもが主体的に、遊びのルールを考えたりできる場面を増やしていきたい。子どもたちの力を引き出していけるよう職員研修を重ね支援のスキルアップに務める。
2	保護者との丁寧な面談、延長支援等の家族支援の充実	定期的な面談時は保護者の皆様にご協力いただき、時間を長く取っていただいております。また保護者の希望による心理担当職員による発達相談を行ったり相談しやすい環境を整えている。保護者の就労等の状況に合わせて、延長支援、送迎等に対応しております。	今後も保護者の皆様が相談しやすい雰囲気作りに努めていきたい。
3	個々のニーズに合わせた専門的支援や、将来の自立に向けた生活スキルの獲得を目指した支援	作業療法士、公認心理師による個別支援や、ソーシャルスキルトレーニングを小集団療育で行っております。また、公共交通機関を使った活動等もおこなっております。	外出などの機会を定期的に取り入れ、将来の自立に向けて沢山の経験を積んでくれるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ホームページやSNSを活用した活動の発信や、連絡体制	紙面でのお知らせ等は出しているが、ICTの活用ができていない。	法人と検討していきたい。ホームページでの子どもたちの活動の掲載については、プライバシーに配慮しながら、掲載していきたい。
2	地域の他の子どもたちと活動する機会や、事業所主催の地域交流の開催	初めての場所や大人数の中で緊張してしまう子どもたちもいる中で、どのような形の交流の仕方がよいのかを考えていかななくてはいけないと感じている。	地域の中で生活していく子どもたちが、子どもたちだけでなく地域の大人との関わりも将来に向けて大切だと感じております。公共施設の利用やボランティアさんの受け入れなど、様々な形で子どもたちが地域で交流できる機会を考えていきたいと思っております。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 上三川町こども発達支援センターおひさまの家
保育所等訪問支援 ひなげし

令和7年 3月 31

公表日 日

利用児童数 16名

回収数 12名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4	1	0	7		現在は使用していません。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	11	0	0	1		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	12	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	12	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	10	1	0	1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	9	1	0	2		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	11	1	0	0		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	9	0	0	3		事業所内の他事業と合同での保護者研修会の開催をしております。保護者の皆様が参加しやすいよう周知してまいりま
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	0	0		
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0			
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	10	1	0	1			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	12	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	12	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	0	4		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	9	1	0	2		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	11	1	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

上三川町子ども発達支援センターおひさまの家
保育所等訪問支援 ひなげし

公表日

令和7年 3月 31日

訪問先施設
数

6施設

回収数 6施設

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なアドバイスを頂け、取り入れやすかったです。 ・的確にアドバイスをいただき、すぐに実践にうつすことができました。 	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自分では気づけなかった点を指摘して頂き、アドバイスもわかりやすかったです。 ・毎回カンファレンスをしていただくことで、とても勉強になった。 	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに回答して頂けて助かっています。 ・プロの目線からお話ししていただくことで、私自身が気がつかなかった新たな発見がありました。 	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行事前に来て頂き、アドバイスを頂けたので、すぐに実践できました。 ・特に運動会の時に、どのように関われば本人の成長につながるか悩んでいたのですが、アドバイスがとても参考になりました。 	
5	事業所からの支援に満足していますか。	3	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方には、専門性の高いアドバイスを受けられ、良い働きかけになっていると思います。 ・成長をととても感じています。 ・悩みや困りごとを相談したり、共有したりする相手がいるだけで、とても心強かったです。 	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有の意味合いが強かったように感じています。 ・いつも園の様子を見てアドバイスをいただく形なので、今度は実際の保育で加配に入っているプロの方の援助の仕方、言葉のかけ方やそのタイミングなどを見せていただきたいです。そこから学んだことを実践に生かしていきたいと考えています。1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。 					<ul style="list-style-type: none"> ・今後は情報共有や間接支援だけにとどまらず、直接支援をどのように取り組んでいくかを事業所内で検討していきたいと思っています。今後も子どもたち一人ひとりにとってより充実した集団生活が送れるよう訪問支援を提供していきたいと思っています。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		上三川町こども発達支援センターおひさまの家 保育所等訪問支援 ひなげし		公表日	令和7年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環 境 制 ・ 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。			未記入（使用していないため）	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	訪問日が限定され、ニーズに応じきれていないことがある。	開所日の検討をしていく
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		訪問に振り返りを行なっている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		今年度より実施。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		3		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		3		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		3		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		3		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		3		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		3		
訪問先施設への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			未記入（現在、該当者がいない）	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	上三川町子ども発達支援センターおひさまの家 保育所等訪問ひなげし		
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和7年2月14日		～ 令和7年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6施設	(回答数) 6施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員に心理担当職員、障害児支援業務従事5年以上、10年以上の職員が多職種で訪問することで、子どもの様子を複数の視点からみて分析し、訪問先施設と支援方法を検討していくことができる。	訪問先施設とのカンファレンスの際は複数の職員それぞれの視点から得た情報をお伝えしてするようにしている。また、保護者への報告等もそれぞれが役割分担し、必要に応じて家族支援を行っている。	多職種が在籍している強みをいかしていきたい。今後も、訪問先施設や保護者と連携を図りながら、子どもの日中の集団生活の場での必要なアプローチをしていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が他事業との兼務となっており、訪問日が週に1日のみとなっており、ニーズに応えきれていない。	訪問先施設にご協力いただき、日程の調整をしていただいているため、現状は訪問できていない児童はいないが、今後は訪問日を増やす、職員の配置等も検討していかなくてはならない。	訪問先施設の予定等も踏まえながら、適切な日程調整をおこなってきたい。